

革命

階級的反戦斗争を更に拡大し
七十年代の勝利を準備せよ！

—破防法・エンター・教育斗争の中に不屈の団結を打ち鍛えよ—

■後退国の激動と先進国危機を一いつのちりと
して突き出す国際反戦斗争を更に拡大せよ！

■日本の反戦斗争の質的飛躍
を更に強固に確立せよ！

■帝国主義的東南アジア進出反対を、国内政治
社会体制再編への反撃と結合して斗い抜け！

■全国くそ列がい戦より勝利を強化せよ！

■「四大問題」
関西学院、中央大学の
学費値上げを粉碎せよ

万国の労働者団結せよ

日本社会主義青年団體
全国学生連盟会解放部

電話 東京 (03) 342-429
東京 (03) 342-429
通話料 1回 10円
6ヶ月連続料 300円

着工実力阻止へ全学の斗いを！

東洋大学通信員

十一月全国反帝学生研議会結成大会に総結集せよ！

の斗いの報告

都立商科短大通信員

羽田斗争の中から
民青を粉碎し自治
委員長選に勝利！

武藏野美術大学通信員

全学連五百決起

12・4国際反戦斗争

日時 二月十七日・十八日
場所 早稲田大学（予定）

革命

1967年12月1日

(一) 戰後階級斗争の概略

A、戦後革命期

「戦後革命期」は、1945年から1950年までの間にかけて、日本社会で起きた大規模な階級斗争の総称である。この期間には、主に農業生産者の反対運動（土改運動）、労働者の労働争議（労働組合活動）、学生運動（左翼思想の展開）などが発展した。

B、ソシニラインと朝鮮戦争サンフランシスコ条約

ソシニライン（ソシニルイーン）は、1945年11月に日本政府とソ連政府が締結した日ソ休戦協定である。一方で、1950年6月の朝鮮戦争勃発により、ソ連は日本に参戦を表明した。これにより、ソ連は日本に対する軍事行動を実行する権利を得た。

C、第一次合理化と平和運動一揆暴動

1950年から1953年にかけて、日本企業は大規模な生産合理化（生産方式の変更）を行った。これにより、労働者の雇用が削減され、労働条件が悪化した。一方で、労働者は抗議活動（一揆暴動）を通じて、自身の権利を主張した。

D、安保斗争をめぐる紛糾と、第三次

1954年から1955年にかけて、安保問題（自衛隊設立）に対する反対運動が高まった。これは、ソ連による東方政策の一環として、日本に対する軍事脅威が懸念されたためである。この運動は、労働者や学生を中心に展開された。

(二) 日本学生運動にみられる 左翼思想の展開

A、五八年の転換の意味

1958年（昭和33年）にかけて、日本学生運動は左翼思想の展開を経験した。これは、労働者階級の意識向上と、社会主義思想の普及によるものである。

B、安保斗争をめぐる紛糾と、第三次

1954年から1955年にかけて、安保問題（自衛隊設立）に対する反対運動が高まつた。これは、ソ連による東方政策の一環として、日本に対する軍事脅威が懸念されたためである。この運動は、労働者や学生を中心に展開された。

(三) 十二月全国反帝学生評議会 力に推進し決戦期へ向けて の戦列を建設せよ！

C、第一次合理化と平和運動一揆暴動

1950年から1953年にかけて、日本企業は大規模な生産合理化（生産方式の変更）を行つた。これにより、労働者の雇用が削減され、労働条件が悪化した。一方で、労働者は抗議活動（一揆暴動）を通じて、自身の権利を主張した。

D、安保斗争をめぐる紛糾と、第三次

1954年から1955年にかけて、安保問題（自衛隊設立）に対する反対運動が高まつた。これは、ソ連による東方政策の一環として、日本に対する軍事脅威が懸念されたためである。この運動は、労働者や学生を中心に展開された。

(四) 学生運動の革命的転換を 推進せよ！

A、五八年の転換の意味

1958年（昭和33年）にかけて、日本学生運動は左翼思想の展開を経験した。これは、労働者階級の意識向上と、社会主義思想の普及によるものである。

B、安保斗争をめぐる紛糾と、第三次

1954年から1955年にかけて、安保問題（自衛隊設立）に対する反対運動が高まつた。これは、ソ連による東方政策の一環として、日本に対する軍事脅威が懸念されたためである。この運動は、労働者や学生を中心に展開された。

五十周年を記念して レーニン主義とロシア革命

森本伸



革

命 第一章

（一）レーニン主義と十月革命

1. 十月革命の残した課題

命 第二章

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命

命